

カンボジアスタディツアー2017

8月4日（金）

カンボジア・シェムリアップは、世界遺産アンコール・ワットをはじめとするアンコール遺跡群で有名な観光都市です。今日は遺跡観光が中心です。今日からシェムリアップ滞在中のガイドはパナーさんです。

最初の訪問地は、上智大学アジア人材養成研究センターです。アンコール遺跡群の保存・修復に携わる三輪悟先生から、現地ならではの貴重なお話を聞くことができました。



いよいよ世界遺産アンコール・ワットへ。三輪先生からお話いただいた予備知識を基に充実した見学ができました。



アンコール・ワットの前にて。池には逆さアンコール・ワットが…



ヒンドゥー教の神話が描かれた緻密なレリーフ。ガイドのパナーさんが分かりやすく説明してくれました。

アンコール・ワット近くで昼食をとって、次の遺跡アンコール・トムに向かいます。中心にあるバイヨン寺院は大きな観世音菩薩の四面仏が印象的です。



遺跡への入り口、南大門の前にて。



続いて、ガジュマルなど木の根が絡みつく姿が印象的なタ・プロームへ。



最後に訪れたプノンバケン山は夕日鑑賞スポットとしても有名な遺跡。ゾウに乗って山頂の遺跡を目指します。大きなゾウが山道を歩いていく姿は圧巻。生徒たちにとっても思い出に残る貴重な体験になりました。



大きなゾウの背中に乗って山道を登っていきます。



プノンバケンにて。残念ながら雲が多く夕日鑑賞は叶いませんでしたが、絶景でした。

蒸し暑い中での遺跡観光で、皆だいが疲れたようですが、アンコール遺跡群とクメール文化への理解がとて深まった、充実の一日でした。疲れはあるものの皆元気に過ごしています。